

Meridian

展示会通信第50号

神戸学院大学有瀬図書館

2019年7月25日発行

一 斎 廣 重

大日本物産図会

東日本編



開催期間:2019年7月8日(月)~2019年11月4日(月)

開催場所:神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

*開催時間や開催期間は変更になることがあります。図書館HP・掲示にて、ご確認のうえご来館ください。

大日本物産図絵

「大日本物産図会」は明治初期の日本各地の産業とそれに関わる人々や社会、風俗を描いたシリーズものの錦絵です。明治10年に開催された内国勸業博覧会に出品されました。

労働者の実態や風俗に重点が置かれた浮世絵は、従来には無い斬新な作品でした。

本作品は全国60地域余り、110画で構成され、美しく繊細な色合いで描かれています。大別すると、農産物43画、水産物31画、商工26画、鉱業8画、畜産2画に分けられます。



「秋田県 羽後国 養蚕之図」

錦絵とは

たしよくず

錦絵は浮世絵の手法の一つで、多色摺りの浮世絵木版画のことです。鮮やかで色彩や淡いグラデーションが特徴で、それまでの主流であった黒摺り絵や紅摺り絵よりも華やかな画になりました。

錦絵制作には、絵を描く錦絵師、版木に起こす彫師、摺り起こす摺師の三職人による生産システムが確立され、安価なものが大量に供給されました。

錦絵は江戸の庶民だけでなく、富裕層や、地方の人々にまで人気がありました。

東北・北海道

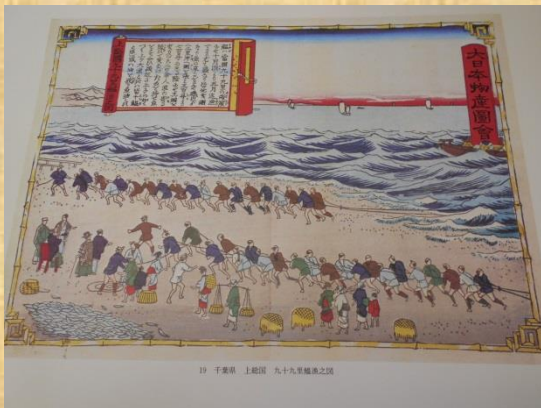


「北海道 渡島国 函館氷輸出之図」



「秋田県 羽後国 養蚕之図」

関東



「千葉県 上総国 九十九里鱈漁之図」

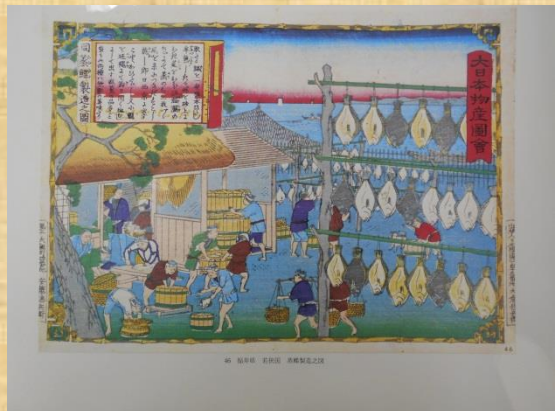


「山梨県 甲斐国 葡萄培養図」

東海・北陸



「愛知県 三河国 漆取る図」



「福井県 若狭国 蒸鱈製造之図」

展示の様子



編集後記

今回のギャラリー展は、明治初期の日本各地の名産を描いた浮世絵が多数展示されています。

鯉を抱き取る図や氷を削って出荷する図など、現代社会では馴染みの無い、個性豊かな産業を見ることができます。

産業の側面から見る明治維新をお楽しみください。

参考文献

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 最終アクセス日2019年7月19日
<https://www.shibusawa.or.jp/museum/newsletter/261.html>

太田記念美術館 最終アクセス日2019年7月19日
http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/exhibition/2015_chozetsugikou

国立国会図書館 「錦絵でたのしむ江戸の名所」 最終アクセス日2019年7月19日
<https://www.ndl.go.jp/landmarks/column/2.html>

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第50号
2019年7月25日発行
発行・編集:神戸学院大学 有瀬図書館
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
TEL:078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp
ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>